

## 第4期きしわだ男女共同参画推進プラン（改訂版）について ご意見と事務局回答

資料5

ご質問・ご意見		事務局回答
① P2 7行目～11行目「女性の就業率が・・低いままで。」の文を少し短くした方がわかりやすいのではないかでしょうか。例えば、2つにわけて、「女性の就業率が・・変わりつつあります。しかし、性別・・低いままで。」ではどうでしょうか。		審議会にて確認のうえ、修正したいと思います。
② P2 12行目「複合化した困難な状況にある女性への支援等」の「複合化」の意味を教えてください。P36以下にも見られない表現なので気になります。		<p>改訂版41ページの基本施策4に「複合化」、施策の方向①に「複合的で」と記載しています。困難女性支援法第2条において、「困難な問題を抱える女性」とは、性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他の様々な事情により日常生活又は社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性であると定義しています。また、困難女性支援法第3条や関係資料（厚生労働省作成）において、女性の抱える問題や女性をめぐる課題は、複雑化、多様化、複合化していると記載しています。</p> <p>複合とは2種類以上のものが結合して1つになるということですが、困難女性支援法に基づき国が定めた基本方針では、ひとりの女性が様々な問題に複合的に直面しているケースが多いとしています。すなわち、女性であることに加え、自身の国籍や出自・疾病や障害・被虐待経験等に起因する、様々な差別や社会的排除に直面し、不安定な就労状況や生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻等の問題を抱えることになるというものです。</p> <p>「複雑化、多様化、複合化」という表現では文章が長くなりがちであり、また、困難女性支援法における女性が抱える問題を端的に表現するのであれば、複合化という言葉がいちばん本質をついていると考えられます。</p> <p>柏原市、池田市、三木市、加東市といった他の自治体においても、「複合化した課題」「複合的に困難な状況」など、同様の表現を採用しています。</p>
③ P3 6行目「政治家や経済分野の幹部に女性が少なく」を「政治分野や経済分野のリーダーに女性が少なく」ではどうでしょうか。「政治家」「幹部」という表現が「性中立的」ではない表現のように感じてしまいます。「議員や官僚、経営者に女性が少ない」ではどうでしょうか。（P33も同様）		本プラン（改訂前）における文中表現と同じになっています（本プラン（改訂前）の冊子5ページ）。政治分野のリーダーとは具体的にイメージしづらいので、「議員・首長や企業の経営者・管理職等に女性が少なく」ではいかがでしょうか？
④ P4 12行目からの文は表現が重複しているように思えます。そこで、例えば、「・・施行され、選挙の候補者数が男女均等になるように努力するなど、男女が共同して参画する民主主義がより発展することをめざすことにしました。」ではどうでしょうか。		本プラン（改訂前）における文中表現と同じになっています（本プラン（改訂前）の冊子6ページ）。表現が重複するかもしれません、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」第1条に規定している法の目的を示したものであるので、この表現でよいと考えています。

## 第4期きしわだ男女共同参画推進プラン（改訂版）について ご意見と事務局回答

資料5

ご質問・ご意見		事務局回答
⑤	P4 下から7行目からの段落 「令和2（2020）年、令和6（2024）年に改正「DV防止法」が施行され」を「令和2（2020）年さらに令和6（2024）年に「DV防止法」が再改正され」はどうでしょうか。	改訂版4ページの4行目と表現を合わせ、「令和2（2020）年、令和6（2024）年に「DV防止法」が改正施行され」とします。
⑥	用語解説の付番が異なっている箇所があります。また、「ライフステージ」（P22（11））ですが、説明しなくても十分浸透している用語だと思います。思い切って削除して、その代わりに、P38「リプロ」について用語解説を書いてはどうでしょうか。（P38には（9）が付番されていますが説明文は見当たりませんので。）	「ライフステージ」の用語解説については、審議会にて委員の皆様にもご意見をいただきたいと思います。 「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」については、当初あった用語解説が消えてしまっていたので、本プラン（改訂前）と同じ内容で記載します（本プラン（改訂前）の冊子9ページ）。
⑦	「目標値」と「中間目標値」について P11のなかに、P17掲載の「目標値」を入れてほしいと思います。例えば、中間目標値と目標値を一つのセルのなかに上下で入れてはどうでしょうか。	改訂版11ページの「中間目標値の達成状況」の中に、17ページの最終目標値を入れると、17ページの「成果指標一覧」を作成する必要はなくなりますが、1つのページにあまりに多くの情報を詰め込むと情報過多となり、かえって分かりづらくなるかと考えています。 そのため、シンプルなページ構成を考え、11ページは中間目標値に対する中間値（現状値）との比較を意識したページ作り、17ページは当初値から中間値、そして最終目標値に至る流れを意識したページ作りとしました。
⑧	P13～P16の「成果と現状」と「課題」はとてもわかりやすい構成だと思います。	ありがとうございます。
⑨	P16「成果と現状」の3項目「共通DV被害者対応マニュアル」とは何を指すのでしょうか？「男女がともに安心して暮らせるまちづくり」のために、ストーカーについてふれることはできないでしょうか。「生命の危険」という点ではDVと同じかもしれません。	「共通DV被害者対応マニュアル」とは人権・男女共同参画課で作成し、府内で使用しているDV被害者対応マニュアルのことです。 ストーカーに関しては、直接的には警察案件となるため、本プランに掲載すると市の施策と混同されてしまう可能性があります。
⑩	P24 施策の方向③「9情報の収集・提供」 「図書・DVDの充実と有効活用」ですが、とくに情報発信について、若い世代の委員から知恵をもらってください！	承知しました。広く委員の皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。

## 第4期きしわだ男女共同参画推進プラン（改訂版）について ご意見と事務局回答

資料5

	ご質問・ご意見	事務局回答
⑪	P27 施策の方向①「31 小中高校での男女共生教育の充実」 先日の意識調査は「男女共同参画」についてであることを、教育委員会は明示していました。もはや、「男女共生」から「男女共同参画」にあわせていいのではないかでしょうか。「男女共同参画」は教科書にもはっきり明記されていますし。（教育委員会による調査結果のまとめを公開してほしいのですが。）	昨年の「男女共同参画に関する小・中・高校生意識調査」は教育委員会の協力のもと、当課が実施したものです。 「男女共生教育」という表現については、学校現場において現在も使用されている表現とのことです。今回の改訂版では変更いたしませんが、次期プラン改定時に検討いたします。
⑫	P33 「～市民のみなさん」から始まる枠 「物事を決める時や行事を行う時」は、「物事を決めるときや行事を行うとき」の方がいいように思います。いずれの「時」も「～する場合」を指していますが、その場合には「時」ではなく「とき」を使うのが一般的だと思います。	その通りに修正します。
⑬	P34 用語解説「人材バンク」にURLのQRコードを貼り付けてみてはどうでしょうか。	ホームページの更新でQRコードが無効になる可能性があります。
⑭	P36 DVについて、プラン令和3年版には被害の数値が列記されていました。個人的には数値のある方が、施策の重みを斯顿と感じることができるのですが。また、上述のとおり、ここに「ストーカーもアカン！」があるとうれしいのですが。	DVは社会問題として認識されているものと考えています。また、本プラン（改訂前）に掲載されている被害の数値は、平成29年度に内閣府が実施した「男女間における暴力に関する調査」によるものですが、配偶者間における調査結果となります。現在のDVは配偶者間だけではなく、同居や恋人関係にあるパートナー間でのDVも広く問題となっており、配偶者間のDV被害の数値はある意味限定的な情報となるため、改訂版においては掲載しないこととしました。
⑮	P36 4行目「本人の意志」は「本人の意思」の方がいいと思います。「本人のこころざし」でなく「本人の思い」が大事ですから。	その通りに修正します。